

平成21年度 環境省「環境人材育成のための大学教育プログラム開発事業」採択

2009 Project to develop higher education environmental leadership
by Ministry of the Environment

ISO14001と産学官民連携を活用した 「 π 字型」環境人材育成プログラム

Program to develop “ π -type” environmental leadership making the most of
ISO14001 and the cooperation of industry-university-government-citizen



学 び の 銀 河

岩手大学

IWATE UNIVERSITY

岩手大学の書体は卒業生である宮沢賢治の直筆を基に構成した。「岩手」は春と修羅の目次の原稿より抜粋。
「大学」は青木大学士の野宿、1頁目の原稿より抜粋。

第1回
エコ大学ランキング
第1位受賞

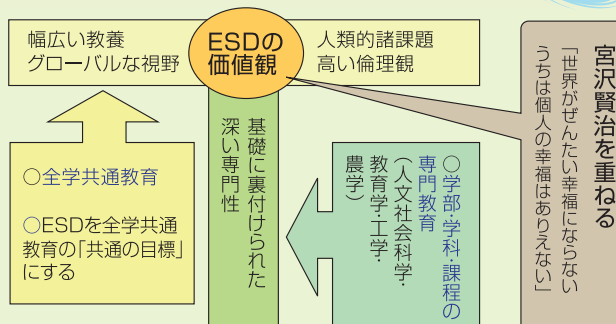
岩手大学はエコ・リーグ(全国青年
環境連盟)主催の「第1回エコ大
学ランキング」(2009年)で国公
私立大学総合第1位になりました。

1.プログラムの概要

岩手大学は、「学びの銀河」プロジェクトで、
ESD(持続共生教育:岩手大学記)の価値観の下、
幅広い視野と人類的諸課題に関する知識を持ち(横軸)、
深い専門性を備えた(縦軸)
「T字型人間」の育成に取り組み、
成果を挙げてきました。

「学びの銀河」プロジェクト

- 文部科学省現代GP「持続可能な社会づくりのための教養教育の再構築―「学びの銀河」プロジェクト」平成18～20年度
- ESDを大学の「旗印」:すべての教養教育にESDを織り込む



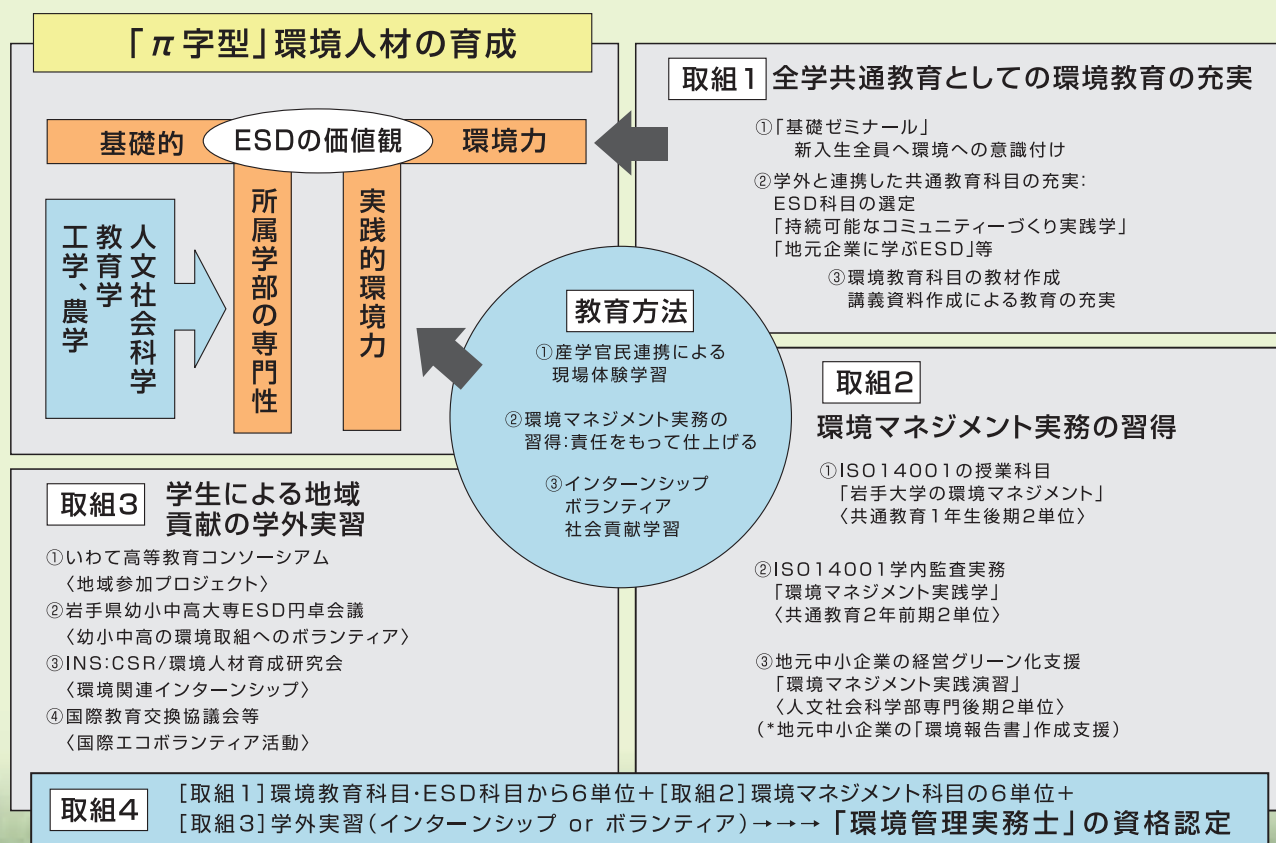
平成21年度から、岩手大学は「学びの銀河」プロジェクトの実績を踏まえ、継承発展させる形で、4つの取組により、
基礎的環境力(横軸)に加えて、学部の専門性(縦軸1)と「環境マネジメント」の実践的環境力(縦軸2)の2つの縦
軸を備えた**「π字型」環境人材**を育成するプログラムを開発、実施します。

[取組1] 全学共通教育としての環境教育の充実: **「学びの銀河」プロジェクトの継承発展**

[取組2] 環境マネジメント実務の習得: **ISO14001の活用**

[取組3] 学生による地域貢献の学外実習: **産学官民連携の活用**

[取組4] 大学による「環境管理実務士」の資格認定: **「π字型」環境人材の認定**



2.プログラムの具体的な内容



[取組1] 全学共通教育としての環境教育の充実

①「基礎ゼミナール」(新入生全員対象)における環境への意識づけ

ISO14001など「環境マネジメントシステム」のコンセプトと学内の環境負荷の現状を理解させ、環境配慮の基本行動を意識づけます。



②学外諸団体と連携した共通教育科目の充実:ESD科目の選定

「**持続可能なコミュニティづくり実践学**」(共通教育1年前期2単位):葛巻町、滝沢村、遠野市、岩泉町などの環境でまちづくりを進める自治体の首長を講師とする参加型授業です。2009年度から夜間に開講し、学生と市民が共に受講します。

「**地元企業に学ぶESD**」(共通教育1年後期2単位):酒造会社、関東自動車、リコージャパン、サンポットなどの環境先進企業から講師を迎える参加型授業です。2009年度から夜間に開講し、学生と市民が共に受講します。

ESDの価値観とESD科目のラベリング
従来ある科目がESDとどのような関連があるかについてラベリング。学生自身が、科目をつないで、「学びの星座・銀河」を形成する。

分野 タイプ	環 境	文 化	経 済	社 会
	E	C	M	S
問題解決の体験	E4	C4	M4	S4
学生参加型	E3	C3	M3	S3
理解の広がりや深化	E2	C2	M2	S2
関心の喚起	E1	C1	M1	S1

③環境教育科目(1年後期2単位:11科目)の教材作成

1年生を対象とした環境教育科目について、講義資料を教材としてまとめる作業を支援し、環境教育科目の充実をはかります。



[取組2] 環境マネジメント実務の習得

①環境マネジメントシステムの基本知識を学ぶ授業科目の開講

「**岩手大学の環境マネジメント**」(共通1年後期2単位):ISO14001の内部監査補助員養成の第1段階として、環境マネジメントの基本知識を学生に習得させます。講義を中心とした前半を踏まえて、後半では実務を想定したグループワークを行います。



②ISO14001の内部監査実務に携わる授業科目の開講

「**環境マネジメント実践学**」(共通2年前期2単位):「岩手大学の環境マネジメント」受講者の中からISO14001の内部監査補助員を養成し、実際に内部監査実務に携わります。





③地元中小企業の経営グリーン化支援の授業科目の開講

「**環境マネジメント実践演習**」(人文社会科学部専門2年後期2単位):CSR／環境人材育成研究会メンバーと人文社会科学部環境人材育成WGの教員の協力の下に、岩手県中小企業家同友会加盟企業に対して、「**環境報告書**」作成を支援する環境マネジメントの実践的な演習科目を開講します。人文社会科学部環境科学課程の専門科目として開講しますが、全学部の学生に開かれた授業科目となります。



[取組3] 学生による地域貢献の学外実習

①いわて高等教育コンソーシアム:地域参加プロジェクトへの応募奨励

コンソーシアムが実施する学生向けの公募型プロジェクトに対して、CSR／環境人材育成研究会で地域の環境に関する課題を整理し、環境マネジメントのスキルを身に付けた学生へ積極的に応募を促します。

②岩手県幼小中高大専ESD円卓会議:学生ボランティアの積極的奨励

岩手県幼小中高大専ESD円卓会議の連携取組の1つとして、小中学校における省エネ等の取組を「環境報告書」にまとめるボランティア活動を積極的に奨励します。



③INS:CSR／環境人材育成研究会:環境インターンシップの推進

環境マネジメントのスキルを身に付けた学生による環境に関連したインターンシップをCSR／環境人材育成研究会のメンバー組織において積極的に推進します。

④国際教育交換協議会・NPO法人ASIA Environment Alliance:国際環境ボランティアの奨励

世界の環境問題に対する学生の関心を高め、毎年数名の実績のある国際エコボランティアに二桁の学生が参加することを目標に奨励します。

[取組4] 大学による「環境管理実務士」の資格認定

[取組1]～[取組3]を踏まえて、① 共通教育から指定したESD科目と環境教育科目から6単位を取得し、②[取組2]の「環境マネジメント」に関する実践的な6単位を習得し、さらに、③[取組3]のインターンシップやボランティアに参加して、環境マネジメントの観点から作成した提言書を提出し、意欲と行動力が確認できた学生に対して、本プログラムが育成する「**π字型**」**環境人材**として、「**環境管理実務士**」の資格を学長から付与します。



3.プログラムの実施計画



1年度目：2009年度の新入生に対し、次の取組を行います。

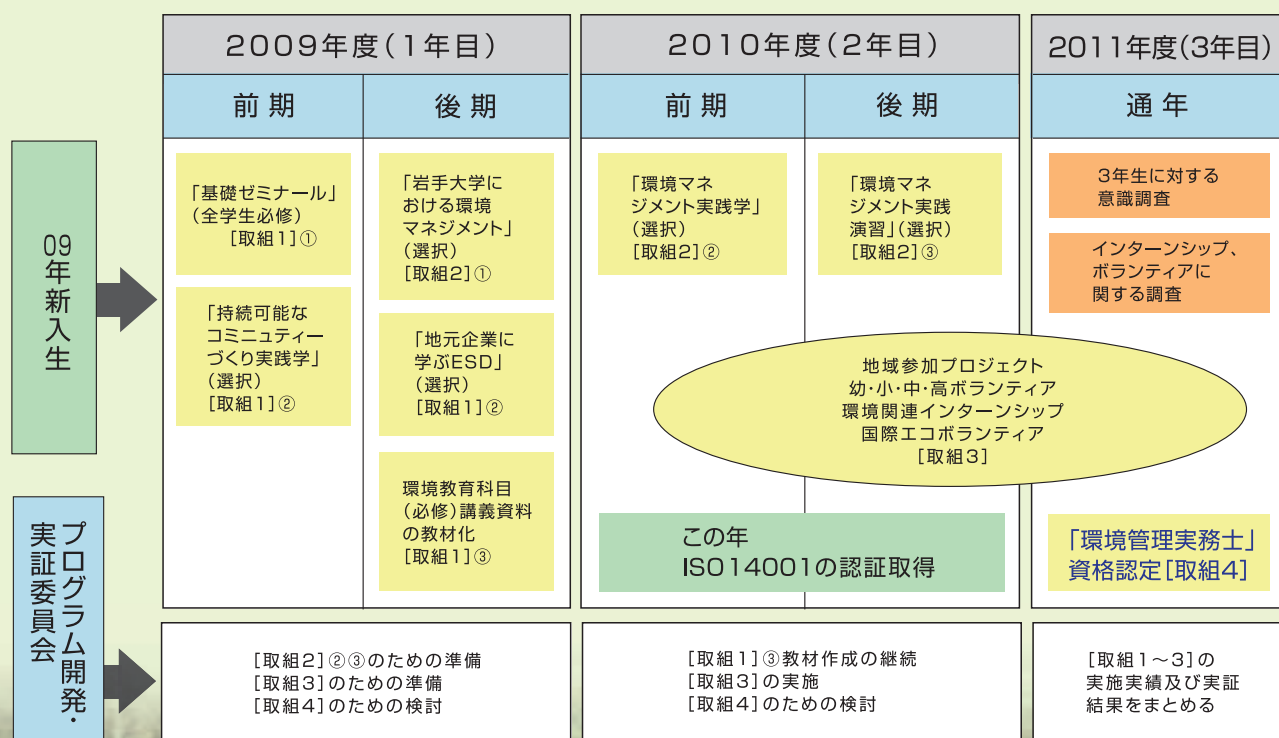
- 【前期】 [取組1]①「基礎ゼミナール」においてISO14001を全学生に簡潔に理解させ、環境への意識付けを行います。
 [取組1]②講師と市民が共に学ぶ「持続可能なコミュニティづくり実践学」を開講します。
- 【後期】 [取組1]③の「環境教育科目」を受講させます。講義と並行して講義資料を教材としてまとめます。
 [取組1]②「地元企業に学ぶESD」を開講し、企業の環境取組に関心を持たせます。
 [取組2]①「岩手大学における環境マネジメント」を開講し、ISO14001の基本知識を教授します。

2年度目：新入生には、前年の開講科目を改善して実施します。2年生となった2009年度入学生に対して、次の取組を行います。

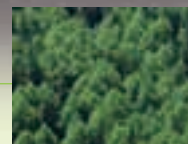
- 【前期】 1年後期の「岩手大学における環境マネジメント」履修者を対象に[取組2]②「環境マネジメント実践学」を開講し、ISO14001の学内監査実務を学生に習得させます。
 [取組3]学外実習(地域参加プロジェクト、幼・小・中・高ボランティア、環境関係インターンシップ、国際エコボランティア)を計画し、随時実施していきます。
- 【後期】 「環境マネジメント実践学」の履修者を対象に[取組2]③「環境マネジメント実践演習」を開講します。
 [取組3]も継続して実施します。

3年度目：新入生・2年生には前年まで開講の科目を改善して実施します。

- [取組3]も継続して実施します。それとは別に3年生となった2009年度入学生に対して、意識調査を行います。
 [取組4]要件を満たす学生を募り、環境管理実務士資格認定小委員会で審査して「**環境管理実務士**」の資格を認定します。

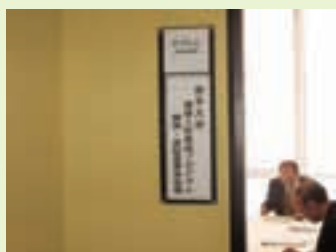
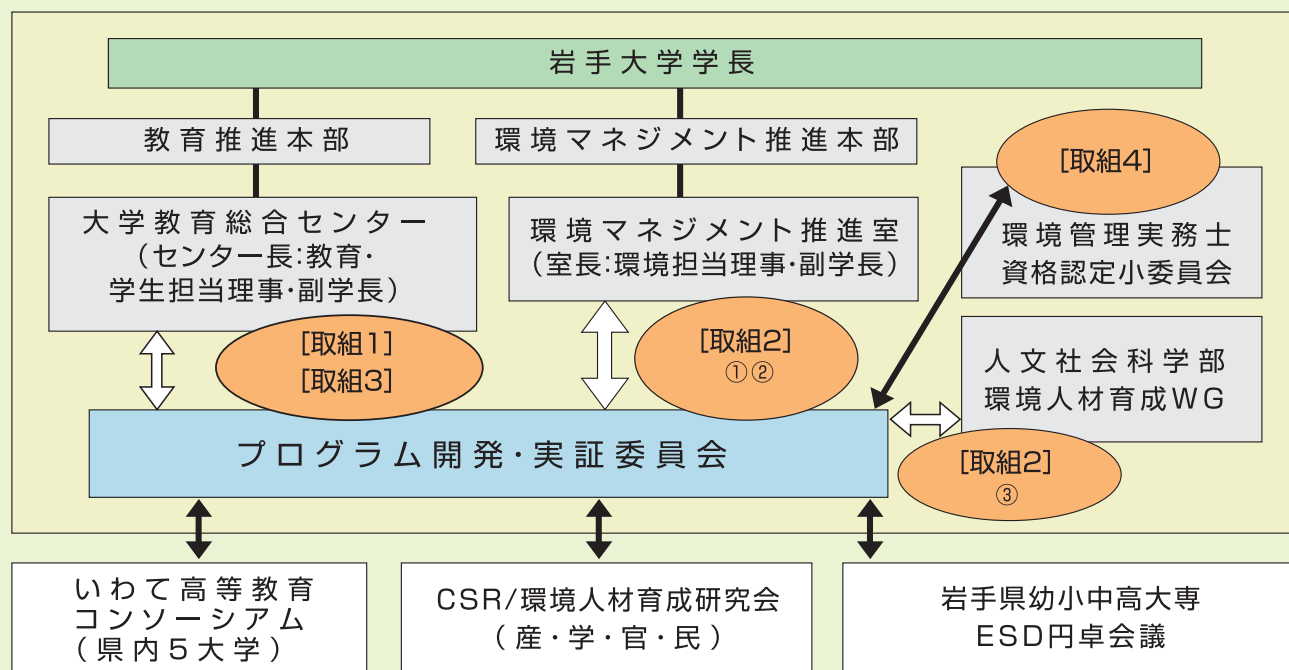


4. プログラムの実施体制



本プログラムは、環境教育重視を基本方針として掲げる岩手大学学長のリーダーシップの下で全学的に推進します。その際、プログラム開発・実証委員会を構成する6つの組織、すなわち、学外の①「いわて高等教育コンソーシアム」、②「CSR/環境人材育成研究会」、③「岩手県幼小中高大専ESD円卓会議」と、学内の①教育推進本部の下にある「大学教育総合センター」、②環境マネジメント推進本部の下にある「環境マネジメント推進室」、③人文社会科学部に設置された「環境人材育成WG」が密接に連携を取り、互いに協働して4つの取組を進めます。

具体的な推進は、教育・学生担当理事・副学長がセンター長を務める大学教育総合センターが[取組1]と[取組3]、環境担当理事・副学長が室長を務める「環境マネジメント推進室」が[取組2]の①と②、人文社会科学部の環境人材育成WGが[取組2]の③を、責任単位として取組を実施します。[取組4]は、環境管理実務士資格認定小委員会で審査し、プログラム開発・実証委員会で[取組1]・[取組2]・[取組3]の実証を行い、学長から資格を交付します。



Uⁱwate
University
岩手大学

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番8号
TEL:019-621-6091
<http://www.iwate-u.ac.jp>

■お問い合わせ

岩手大学 環境マネジメント推進室

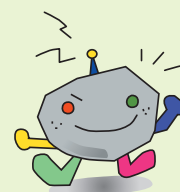
担当:中島 清隆(なかしま きよたか)

TEL:019-621-6912

FAX:019-621-6014

E-mail:knakashi@iwate-u.ac.jp

HP:<http://www.iwate-u.ac.jp/ecoedu/>



岩手大学イメージキャラクター がんちゃん

